

※ 未提出者への督促後に新たに提出（入力）されたレポートも含めた集計結果です

設問 1（授業科目名・クラス名）

設問 2（科目コード）

設問 3（回答者名）

※ 以下、各選択肢の右に該当クラス数を記す。（全回答数に対する回答率も附記）

A（問 4～13）：授業担当者として教授技法や授業内容等に関し、教育活動を自己点検し、次の①～④のうち該当する丸数字を選んでください。 ①:あてはまる ②:ややあてはまる ③:あまりあてはまらない ④:あてはまらない

設問 4 シラバスに沿って授業を行えた。

①:8 (50%) ②:8 (50%) ③: 0 (0%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 5 学生の理解度やレベルを踏まえて授業内容を設定・調整した。

①:11 (69%) ②:4 (25%) ③: 1 (6%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 6 話し方、板書の仕方、機器又は器具の使い方、等が適切だった。

（教授技法の適・不適の観点で柔軟に回答してください。）

①:6 (38%) ②:8 (50%) ③: 2 (12%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 7 重要ポイントを明示し、分かり易く説明した。

①:10 (62%) ②:6 (38%) ③: 0 (0%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 8 学習意欲や知的好奇心・関心を掻き立てたり満足させる教え方ができた。

①:6 (38%) ②:8 (50%) ③: 2 (13%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 9 受講生の信頼を得るような授業態度で授業に臨んだ。

（授業を周到に準備し、休講・遅刻を極力控え、進行を妨げる行為（私語など）に対して毅然として実施した。）

①:11 (69%) ②:4 (25%) ③: 1 (6%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 10 受講者とのコミュニケーションを図りながら授業を進めた。

（発問への回答を学生に求めた/学生からの質問・発言を促した/学生の理解度を確かめながら進めた

/学生の授業への能動的な参加（アクティブ・ラーニング）を促した 等）

①:8 (50%) ②:6 (38%) ③: 2 (13%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 11 授業内容に見合った予習・復習或いは発展学習を課した。

①:6 (38%) ②:8 (50%) ③: 2 (13%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 12 総合的に判断して学生を満足させる授業が行えた。

①:8 (50%) ②:5 (31%) ③: 3 (19%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

設問 13 シラバスに掲げた当初の授業目標（ねらい）は達成された。

①:9 (56%) ②:5 (31%) ③: 2 (13%) ④: 0 (0%) 未回答:0 (0%)

B (問 14~18) : FD 活動についてお尋ねします。

設問 14 この授業科目に関してこの 1 年間取り組んだ FD 活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 2 (13%)
 - ②学内外の FD 講演会等への参加： 4 (25%)
 - ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
 - ④その他： 2 (13%)
 - ・・・「外国語教育関連の学会の参加」2 クラス、
- 未回答： 8 (50%)

設問 15 今後取り組もうと考えている FD 活動を選んでください。(複数回答可)

- ①他教員の授業参観： 2 (13%)
 - ②学内外の FD 講演会等への参加： 4 (25%)
 - ③他大学の FD 活動の視察： 0 (0%)
 - ④その他： 2 (13%)
 - ・・・「韓国語教育に関する研修の参加」2 クラス
- 未回答： 6 (38%)

設問 16 昨年度も同一科目を担当した方は、前年度の授業評価に基づき、改善した点を書いてください。

該当するクラスのうち、 回答：2 クラス（順不同）

[1] 板書の仕方を見易いように工夫した。

[2] 留学生向けの本科目は、昨年度までは学科持ち回りであり、さらに、全部ではないが、各学科担当教員が自分の研究を中心に話す内容であり、自分の専門分野ではない学部が担当となった際には留学生には関心もなく理解もできない内容であった。そこで、これを改善するために、今回から 4 学部の持ち回りとし、全体で宮崎大学および宮崎について紹介、解説した。これにより、日本語聴解・読解力の向上と、宮崎地域と自分の所属である宮崎大学への理解を通じて、日本の地域と教育機関および各分野の関心と理解を高めることを狙いとした。

設問 17 自分の授業の評価できる点や反省すべき点、或いは、この FD 活動レポートに関して特記すべき点があれば書いてください。

回答： 6 クラス（順不同）

[1] この授業では、とにかく授業を計画的に進めることで精一杯であった。受講者の動機づけが全体的に低く、正直どのようにして良いのか分からない時も多く、受講者とのコミュニケーションが極端に少なかったことが反省点である。専任教員から指定された計画を消化することで精一杯だったため、臨機応変に受講者のレベルに合わせる事ができなかったことも反省すべき点である。

[2] 受講者が少数だったため、1 人 1 人の学習状況を把握しながら授業を進めることができた。

[3] 中国語の授業では、毎年、「出席カード」を用意し、毎回、学生に授業の出席を記入・提出させている。カードには小テスト（ほぼ毎回実施）の点数やレポートの提出状況なども記入されており、学生の学びの記録である。

今年は裏面に毎回、授業の感想などを記入させた。少し難しいと思われる單元の際には、理解度などを記入するように指

示した。翌週までに確認し、理解度が低かった場合には、復習に時間を割くようにした。

映像やゲームなども取り入れて、できる限り、学生が楽しみながら学習意欲を高められるよう、努力したつもりである。

・・・2クラス

[4] 再受講生だけのクラスであったことから、彼らがとにかく最終回の授業まで参加し、単位を修得できると感じる授業にすることを最優先した。レベルにも意欲にも大きな差があったが、全員が何とかついてくることのできるレベルを設定し、授業を進めた。漫然と授業を聞く学生をなくすため、毎回、教科書の内容や教員の追加説明を記入できるプリントを用意した。そして、一通りの説明を終えた後は、少しの自習時間（質問も受けつける）を設け、その後、その日の内容に関する小テスト（確認テスト）を実施した。小テストはすぐに採点し、合格基準点以下の場合は居残って、合格するまで再試験を実施した。（学生には、シラバスならびに授業の初回に、上記システムについて説明をし、了解を得たうえで進めた。実際にそれほど長く居残りを課したことはない。）おかげで、学生も授業に集中し、その日の内容はその日のうちに理解することができたと考えている。

ただ、レベル・意欲のやや低い再受講生を標準としたため、授業で発展的なことができず、意欲の高い学生にはやや不満であったらと思う。この点は残念である。

[5] 各学部教員への通知、依頼の内容、指示が十分ではなく、狙いへの理解と十分な浸透を図ることができなかった。

設問 18 FD 活動レポートに関して特記すべき報告があれば添付ファイルで提出してください。

提出ファイル： なし

C (問 19～21)：中期目標・中期計画のうち「コミュニケーション能力の育成」についてお尋ねします。

設問 19 授業に「コミュニケーション能力の育成」を考慮した内容が含まれていますか？

①はい： 10 (63%) ②いいえ： 2 (13%) 未回答： 4 (25%)

問 19 で「はい」の方は問 20、21 にお答えください。

設問 20 下記のどの点を重視しましたか？（複数回答可）

①聞いて理解する： 9 (56%)
 ②読んで理解する： 7 (44%)
 ③自分の考えをまとめて話す： 6 (38%)
 ④自分の考えを文章にまとめる： 1 (6%)
 ⑤討論する： 1 (6%)
 ⑥皆の前でプレゼンテーションする： 1 (6%)
 ⑦その他： 2 (13%)・・・「会話練習、自己紹介」2クラス
 未回答： 6 (38%)

設問 21 「コミュニケーション能力の育成」に関して具体的な取り組みがありましたら、記述してください。

回答： 3 クラス（順不同）

[1] 韓国のドラマを見て感じたこと、分かったことを話させる。聞きとれたことばを書かせて理解度を確かめる。感想を発表させる

[2] この授業は受講学生が6人と少数であったため、会話を中心とした学習が行えた。TAとして韓国人留学生2人に入ってもらい、1人の TA で3人の発音、会話指導を円滑に行うことができた。また、受講者も韓国人と直接触れ合うことで韓国の言語や文化についての興味が深まったようであった。また、少人数であるため、一斉学習ではなく1人1人に合った学習が行えたのではと考える。

[3] ・日本語資料（講義量以上）の配布。読み込む内容の配布が多く、その点では読解力の向上に貢献。

・講師による解説を交えた日本映画の視聴による聴解力の向上。

・日本語を使用した言葉遊びによる日本語使用への意識向上。

D（問 22～25）：中期目標・中期計画のうち「地域を教材とする基礎教育/共通教育プログラム」についてお尋ねします。

設問 22 授業に「地域（宮崎）を教材とする」内容が含まれていますか？

①はい： 2（13%） ②いいえ： 6（38%） 未回答： 8（50%）

問 22 で「はい」の方は問 23～25 にお答えください。

設問 23 その内容を授業に取り上げるおよその回数を選んでください。

①1～5回： 2（13%） ②6～10回： 0（0%） ③11～15回： 0（0%）
未回答： 14（88%）

設問 24 「地域」のどのような分野を取り上げていますか？（複数回答可）

①歴史・文化： 2（13%） ②政治・経済・産業： 1（6%） ③自然環境・フィールド体験： 1（6%）
④その他： 1（6%）・・・「宮崎の地域医療、など宮崎地域における大学の事業、研究等」 未回答： 14（88%）

設問 25 「地域を教材とした基礎教育/共通教育プログラム」に該当する特色ある活動がありましたら、記述してください。

回答： 1 クラス

[1] ・宮崎の農産品

・宮崎の神話